



検索・中野あきと

みどりと清流

日本共産党市議会議員 中野あきと事務所ニュース

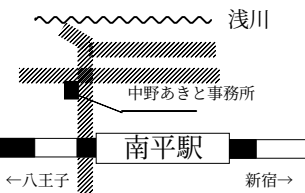
〒191-0041 日野市南平6-25-1 (南平ビル1階)

(電話・FAX 042-599-3350) 発行責任者 小山敏正

2019年
10月発行

第202号

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



▲台風15号災害救援募金活動

9月13日、中野あきと事務所では、京王線南平駅前で15号台風の災害救援募金活動を行いました。午後1時間の行動でしたが、15,655円の募金が寄せられました。

ご協力、大変ありがとうございました。

◎マイクで訴えるのは、早川寛・日本共産党衆議院東京21区予定候補。

《中野あきと》9月市議会本会議一般質問 元副市長問題の全容解明を求める

助役、副市長として12年にわたり日野市の最高幹部を務めた河内久男氏は、退職後も市立病院の経営専門監査、院長相談役の任につきながら、市政への大きな影響力を保持してきました。

今年の3月市議会でも明らかにした河内久男元副市長をめぐる問題について中野あきと市議は、6月市議会に引き続き9月市議会でも質問を行い、全容解明を求めました。

その河内氏をめぐる法令違反、税金の不当・違法な支出、重大な人権侵害・ハラスメント問題などの疑惑が派生しています。

市立病院で起きた ハラスメント問題

中野あきと

これは病院内で7年間にわたるパワハラ行為、3年に及ぶセクハラ行為が同一人物によって続けられてきたという問題です。

昨年10月に懲戒免職処分が行われましたが、なぜ、長期にわたって放置されてきたのか。院長相談役であった河内氏との存在と関与の有無も含め、資料請求で入手した一連の経過が記載された公文書をもとに、事実と問題点を明らかにしながら市長の姿勢について質しました。

市長は、

「本日ご指摘いただいた全ての点にメスを入れ、全ての関係者について調査をし、…解明に努めていきたい」と答弁しました。



川辺堀之内土地区画 整理組合における問題

河内氏は、市立病院で院長相談役として働きながら、川辺堀之内区画整理組合で、理事長相談役として個人委託契約を結び報酬を受けとっていました。

これは公務員の兼業禁止に抵触するばかりでなく、補助金を出す側にある市の職員が、補助金を受ける側の仕事もしていたこととなります。「職務の公正を害する恐れ」があるとして明確に禁じられている行為です。

区画整理組合の設立準備段階では副市長として関与、退職後は組合と個人委託契約を結び高額な報酬を受けていたのです。

私は、区画整理法や東京都の「区画整理の手引き」に照らし、設立段階から今日に至るまでの業務委託、工事委託の在り方の全面的な検証の必要性を質しました。

市長は、

「単なる違反の事実確認ではなくて、それが起きた背景、企業が公社が組合の業務を受託したところにさかのぼってという指摘をいただきました。

全ての関係者に確認し真相を究明。事実を議会・市民に明らかにした上で、必要な処分等の検討を実施してまいります」と答弁しました。



短信

「灯火親しむ候」などと言われてきたが、近頃は夜が明る過ぎ、そんな情景も希薄になってきている。以前は必要な部分にだけ灯りがあり、周囲は適当に暗かったものだ▼「電灯」と言う言葉も死語になって久しい。電気でもずも照明の総称をいうが、電球による灯りの代名詞でもあった。白熱球とも呼ぶ電球は、エネルギーの大半が熱となって費やされる。エネルギー効率の良い蛍光灯が世に出て、高度成長の波に乗り日本中を席卷。夜の風景も一変した▼あの赤黄色い電球の光は、もう思い出の中にしかない。秋祭りの夜の電球の光。周囲が暗かったからこそ、なおのこと風情があった。戦争が終わり、空襲に備えた「灯火管制」の黒い布を外しスイッチをひねった途端、電球の光が部屋の隅々まで行き渡り、こんなにも明るかったのかと改めておもった▼その、スイッチを「ひねる」という言葉も、今は完全に死語である。天井から下がる電灯は、蛍光灯のように紐を引くのではなく、電球をねじ込んだソケットの横に突き出た、スイッチをひねって点滅させたものだ▼いま、さらに効率の良いLEDも出現している。エコロジーが差し迫った社会の課題となる中、光の洪水は再考してはどうだろうか。適当に暗いのも乙なものだ。この際、蛍光灯に下支えされた二十四時間社会の在り方も、見直したいものだ。

施設利用料・手数料値上げ条例、プラごみ収集変更など可決 住民票300円、発泡スチロール類は有料袋に

9月市議会で審議された、住民票など証明書発行にともなう手数料、各種施設の利用料の値上げ条例は可決され、来年4月から実施となりました。

また、プラスチックごみの分別・収集方法の変更も可決され、来年1月から実施されます。

しかし、審議の中で、施設利用料の

「基準」とは異なる別の「基準」が当てはめられていたり、プラスチックごみの分別・収集についても、議会の議決に反する内容で再提案されました。

日本共産党市議団は、こうした運営上の問題点を追及し、両条例案にも反対しましたが、与党などの賛成多数で可決されました。

当初の「基準」なら南平駅 西交流センターは値下げに

施設利用料の変更について日野市は、それぞれの施設の維持経費等をもとに原価を算出し、部屋の広さや貸し出し時間、利用者負担の割合を掛けて「基準額」を決め、現行額と比較して改定額を算出したと説明しました。

しかし、「基準」にもとづき計算してみると、南平駅西交流センターや新町交流センターなどは、現行の使用料よりも「基準額」の方が低くなる事例があることが判明しました。

値上げのために別の「基準」が

日本共産党市議団の指摘に日野市は、「標準的な原価の施設を基準にする」と、説明を変更しました。理由は「同程度の設備、目的で使用する施設について、利用料に極端な差が生じないように」するとし、その「標準」を万願寺交流センターとしました。

これで計算すると、南平駅西交流センターや新町交流センターは、一転、値上げになりました。これでは、値上げを行うための「基準」だったと言われても仕方ありません。

施設の目的は 市民の活用があつてこそ

交流センター条例では、「市民相互の交流を通してコミュニティの形成を促進し、市民の生涯にわたる学習活動を支援すると共に、文化、スポーツ及びレクリエーションの振興をはかることを目的」とするとあります。

当初は無料だった交流センターは、2013年から有料化されました。この時、交流センター全体で年間2万8千人も利用者が減少、いまだにその時の水準を回復していないのです。これは、日野市にとっても市民にとっても、大きな損失ではないでしょうか。

発泡スチロールは有料袋に

ごみ袋も2種類と議会で決めた収集方法が、突然3種類へ変えられました。この結果無料回収だった発泡スチロール類は、プラスチックごみと一緒に新設の有料の青袋で回収されることになりました。



「財布を忘れた」にご用心

これは、中野事務所にお見えになった方の話です。夏の暑い日、南平駅ホームの待合室で、突然大声で「財布を忘れた。ああ困った」と騒ぐ女性がありました。見かねたその方は名前と住所を伝え「ポストに返してくれたら」と言って千円貸しました。

ところが2週間過ぎても、何の音沙汰もありません。駅の人に話したら「それは詐欺です。京王線では聞かなかったが、ここまで来たか」と言われたそうです。

同じ被害が出ないよう、ご了解を得て掲載させて頂きました。

【お詫びと訂正】

先月号の「ご質問に答えて」の文中、「多摩川を渡り」とあるのは、「浅川を渡り」の誤りでした。お詫びの上、訂正します。（編集部）

《次回無料法律相談》

日野市役所6階共産党控室 午後1時～3時
11月14日（木）お申し込みは下記へ。

清水とし子事務所 ☎042-582-1042

< 写真で見る南平と平山の今昔 ⑥ >

今は住宅街に「変身」、10年前は田んぼ

南平6丁目の浅川沿い



町の景観の早い変化に驚きます。

写真は平山との境、南平6丁目27番と28番の、京王線と浅川に挟まれた所の風景です。わずか10年間で田んぼが無くなり住宅街に変わってしまいました。

●左の古い写真は、刈り入れのすんだ田んぼで農家の人たちが共同で脱穀作業をしているところです。稲架（はさ）には稲束がたくさん架かっています。向こう側は写真では見えませんが浅川です。2009年10月24日に撮影した写真で、同じ場所の京王線沿いには「富士見ヶ丘高校」の運動場もありました。そこも住宅街に変わりました。

●右の新しい写真は、その田んぼがここ2年間で一変、住宅街に「変身」したものです。戸建ての新築住宅が80戸近く建ち、南平駅まで徒歩でわずか5分間という利便性も加わって、ほとんどが入居済みです。（2019年9月25日撮影。）

しんぶん
赤旗

日刊●月3497円 日曜版●月930円

◎短期間のお試し購読。一部売りも。

お気軽にお申し込みを。中野あきと事務所

